

藤河議員



市街化区域内の 下水道工事未実施地区について

Q 十分な検討を行い、
早期解決に取り組んでいきたい（上馬場下水道課長）

A 窪地は低宅地として定義され、自然流下による下水道処理が行えない場所である。こうした場所に下水道を整備する際の基準として、強い住民の要望や、現在の技術で処理が可能なこと、低宅地が複数世帯で構成されていることなどの条件を満たす場合に限って行っている。今年度は、1地区を整備予定である。下水道は生活環境の向上に不可欠な施設であることから、適切な施工技術等について十分な検討を行い、早期解決に取り組んでいきたい。

Q 市街化区域内で窪地であるため、下水道工事ができていない場所が多く残っているようである。10年以上も取り残されている家もある。くみ取りの都度近所に迷惑をかけるような気がするのと、できるだけ早期に解決するべきではないか。

藤本議員



町有財産（深原地区最終処分場予定地）の 活用について

Q 収益性を重視した活用方策について
検討を進めている（上馬場建設部長）

A 当該箇所は不燃物の埋立て予定地として取得したため、谷間に位置し、活用のためには進入路を含む造成が必要と思われる。これらを踏まえ、町の発展に寄与できる活用方策について検討を進めている状況であり、一定の検討が進んだ段階で議会に説明をしていきたい。

Q 深原地区の広域不燃物最終処分場予定地として購入した土地について、平成21年3月定例会において答弁された件であるが、「今後の利用方法」についてどのような検討を進めているのか内容を問う。

Q 当該地には保安林の解除が必要であり、また残土受け入れのための整備も必要である。多額の費用がかかると思うが、どのように考えているか。

A 保安林解除には具体的な計画案の元に工事の許可を得て、新たに砂防堰堤の工事をするなど、長い期間と多額の費用がかかるが、将来造成した場合の収益性を一番に重視して考えていきたい。



教育部門

山野議員



西公民館のトイレ設備について

Q 洋式トイレについて
設置の方向で検討していきたい（加藤教育部長）

A 西公民館はいろいろな改修をお願いしたいが、特にガスレンジは状態が悪く、取り替えていただきたい。

A 昭和46年の開館以来トイレの改修は行われておらず、利用しにくい状況。洋式を望む声が多くなったため、平成元年新館に洋式である身障者用を設置した。本館の洋式への変更、身障者用のドアの変更は、今後設置の方向で検討したい。オストメイトトイレについては、スペースの問題もあり、今後研究していきたい。

Q 西公民館本館は、当時のままで全て和式トイレ。ぜひ洋式トイレに改修をお願いしたい。別館の身障者用トイレは洋式だが、こちらはドアがカーテン状のため落ち着かない。
また、人工肛門・人工膀胱の人も大勢おられると思う。その方々に対応できるオストメイトトイレが庁舎・町公に作られたが、西公民館にも作るつもりはあるか。

A 調理室のガスレンジは危険でもあるため、できるだけ早めに改修、購入等について検討していきたい。

藤本議員



広島熊野道路の料金値下げについて

Q 引き続き要望は行っていきたい（上馬場建設部長）

A 町長による要望は行っているが、平成17年度から利用者の減少が一段と進んでおり、また、昨夏からの経済状況悪化による減少も見込まれるため、現時点での値下げは難しいと伺っている。
しかし、ETCの導入などを含め、関係機関には引き続き要望は行っていきたい。

Q 平成18年3月定例会、同年9月定例会において、通行料金の値下げ交渉を要望したが、その後の状況は。

